

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 8月15日更新

事務事業名		LED街路灯導入促進事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	総務部	課長名	中村誓丞		
	施策	7	地球温暖化防止対策の推進			所属課	総務課	担当者名	山隈和徳		
	基本事業	19	地球温暖化防止活動の促進			所属班	交通防災班	(内線)	1215		
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 4	事業連番	11613	法令根拠	地球温暖化対策推進事業費補助金交付要綱	成果優先度評価結果	—
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 26 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	市内防犯灯856台をLED化することにより、CO2の排出量の削減、防犯に関する環境の整備、消費電力の削減による財政負担の軽減、地元雇用の確保、経済の活性化などに取り組む。市の防犯灯の現状としてはLED化が進んでおらず、また管理を行ううえでの基礎資料となる台帳等もなく、今回、この事業に取り組むことで、市で管理する防犯灯を一度にLED化することができることはもちろん、今後の適正な防犯灯の整備や管理を行うために必要となる基礎資料を作成する。
【業務の流れ】	H25(6月~8月)LED照明導入調査事業 (10月~2月)LED照明導入補助事業 H26.3月~H35.2月(リース期間)10年間
【主な予算費目】	見積等による積算。LED照明導入調査事業8,000,000円(5月補正) 環境省との打ち合わせ旅費52,000円(5月補正) LED照明導入補助事業(リース)3,360,000円/年(H26.3~H35.2)(9月補正)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	平成24年度第一次補正予算に盛り込まれた「小規模地方公共団体におけるLED街路灯等導入促進事業」があり、地球温暖化対策の推進を図る観点から今回の事業を企画した。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:新規	
①手段(主な活動)25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)		26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
・市管理防犯灯LED化を図るため、導入調査を行ない、調査結果に基づき、827基の防犯灯をLED化した。		・取付工事を行いリースを開始する	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ア:改修台数	台		
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
防犯灯		→ア:防犯灯	台
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
電気料金の削減、CO2の削減		→ア:電気料金削減額(年間)	千円
		→イ:CO2削減量(年間)	%
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ~年度
			0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	27年度 予定	見込	見込
①活動指標	ア	台			827	827	0	0		
	イ									
②対象指標	ア	台			827	0	0	0		
	イ									
③成果指標	ア	千円			0	0	2,000	2,000		
	イ	%			0	0	60	60		
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円					4,000	4,000	
	(A)事業費計	千円			0	0	4,000	4,000		
	(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0		
(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0			
人件費	正規職員従事人数	人			0	5	1	1		
	延べ業務時間	時間			0	265	100	100		
	(B)人件費計	千円			0	1,055	407	407		
トータルコスト(A)+(B)		千円			0	1,055	4,407	4,407		

事務事業名	LED街路灯導入促進事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						